

# みどりアップQ

緑 × まち × 未来を考えよう

## Q まちをもっと 楽しくするには？

土を耕し、作物を育て、収穫して食べる。

家庭菜園ならではの楽しみは、大人も子供も夢中にさせます。

みんなが野菜作りを楽しんで、知らず知らずのうちに、

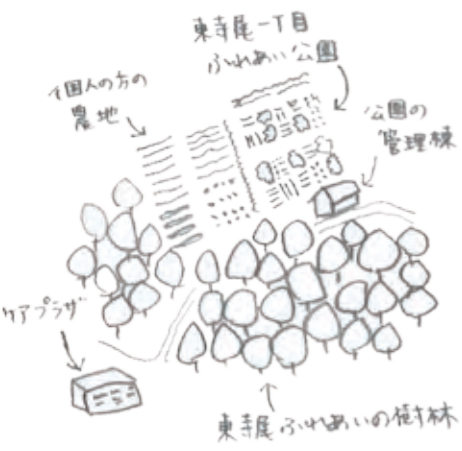
まちに新しい繋がりが生まれる。

そんな、「東寺尾一丁目ふれあい公園」をレポートします。

東寺尾一丁目ふれあい公園の  
収穫祭に集まった皆さん







**東寺尾一丁目ふれあい公園**  
 鶴見区東寺尾一丁目の住宅地の真ん中にある農園付公園。耕作されていなかった農地を整備して造られました。

区画貸し農園：54区画（1区画13㎡、5,200円/年）  
 協働農園：105㎡  
 ※トイレと倉庫がついた管理棟あり

# 自分たちで作るのが、やっぱり一番おいしい

現在市内に4か所整備されている農園付公園のひとつ、東寺尾一丁目ふれあい公園を、横浜みどりアップ計画市民推進会議の委員が訪ねました。

取材 大竹齋子 委員

## みんなが好きなものを育てる畑

平成27年4月に開園したばかりとは思えないくらい、それぞれの畑では、大根、キャベツ、ホウレン草、白菜などが見事に育ち、収穫を待っています。「皆さんずいぶんお上手ですね。経験のある方が多いのですか?」とお聞きしたのは、この農園で初めて野菜作りを始めた夫婦。「自分でいろいろ調べるけど、皆も教えてくれるからね」とのお答えです。種から育て、連作障害で野菜の生育が悪くなることのないよう、区画の中で作る場所を順に変えていく工夫など、知恵を絞りながら楽しんでます。

経験がない方が利用者には多いのですが、野菜作りは初めてという方でも、周りの利用者から助言がもらえるようですし、定期的に専門家を招いての講習会も開かれていますので、どの区画も丹精込められた野菜がすくすく育っています。



区画貸し農園で野菜づくりにチャレンジしているご夫婦。



区画貸し農園で丹精込めて育てた里芋を収穫。

協働農園の里芋をみんなで収穫しました。



## 公園とケアプラザのコラボレーション

公園の一画の、みんなで耕作する「協働農園」では、町内会のメンバーを中心としたボランティアの方々が、公園の管理者や地域の人たちと協力して1年を通して野菜作りをしています。収穫した野菜は「収穫祭」で地域の参加者にふるまわれます。夏の収穫祭では100名近くの参加者がジャガイモ料理に舌鼓うち、冬には芋煮会が行われました。調理は公園から歩いて5分ほどのところにある地域ケアプラザの調理室を利用しています。ケアプラザという市の施設が近くにあることを上手に利用し、お互いの持ち味を発揮して活動の場を広げています。

## まちの「オヤジ」がゆるーく繋がる

公園は東寺尾一丁目町内の真ん中にあり、駅から遠く駐車場がないので、集まるのはほぼ近隣の方々です。「あのオヤジの畑のプロッコリーを見てやってよ、ここのオヤジはほとんど毎日来て、よその面倒も見てるんだ。このオヤジは…」と、見学している私たちに利用者の方がうれしそうに紹介してくれました。「退職後は家に居場所がないからね～」という冗談も。農園ができる前は話すこともなかった人たちが、野菜作りを通じて交流を育むことになりました。休日には、お子さんやお孫さんたちも一緒になって農作業をする姿も見られます。農園は、元気なシニアが新しい生きがいを見つけるきっかけにもなっています。地域の人の繋がりが、今の都会の暮らしに求められているものかもしれません。



収穫祭で芋煮をつくるボランティアの皆さん。

## 東寺尾一丁目ふれあい公園の課題

こんなにうまくいっている東寺尾一丁目ふれあい公園でも、課題はたくさんあります。まず、区画貸し農園は1年契約で2年間の継続ができますが、その倍率は3倍と、なかなかの人気です。抽選に外れたときに、どうしたら学んだ農作業が次に生かせるかが課題です。また、収穫後に不要になった茎や葉は、燃えるゴミとして各自が持ち帰るため、たい肥としての循環が行われていません。ふれあいの樹林の有効活用もなんとかできたらと皆が感じているものの、まだ良いアイデアは浮かびません。それに、農園の広報もまだ足りていません。などなど、これからますます、住民の知恵や協力が必要になります。

## これからの横浜に思うこと

全国でも有数の大都市横浜は、身近に森や農地や緑を感じることのできる環境づくりに取り組み、次世代に引き継ごうとしています。進む都市化や、担い手不足、維持費の問題なども、市民と行政が協働し、横浜みどりアップ計画の後押しのもと、解決していくことが期待されます。

ここにみどり税

農園付公園の開設費（土地の買収、施設の整備など）



収穫祭に集まった子どもたち。野菜が苦手な子も、芋煮はべろりと食べていました。

## Q 農園付公園とは?

A 維持管理が難しくなった農地などを、市が買い取るなどして、市民の皆さんが農作業を楽しめる、農園を主とした公園です。みどりアップ計画の取組として進んでいます。

## 今回紹介した公園のほかに、整備されている農園付公園



師岡町梅の丘公園（港北区師岡町）



泉が丘公園（泉区和泉が丘）



南本宿第三公園（旭区南本宿町）

ほかにも市内では、収穫体験農園をはじめ、農家の指導を受ける栽培収穫体験ファームや、区画貸しタイプの農園など、色々な場所で農体験ができます。

横浜市 市民農園





新治市民の森

## 森とわたしをつなぐ場所 ウェルカムセンターに行こう 第3回

新治里山公園・にいはる里山交流センター  
(緑区新治町887)

緑区新治町には、67ヘクタールもの面積を誇る新治市民の森や、旧奥津邸などの施設がある新治里山公園があります。

公園内の「にいはる里山交流センター」では、新治の自然や里山文化のパネル展示、観察会や里山体験教室等を行っています。また、団体で利用する時の相談や解説なども行っています。

詳細はホームページか、センターまでお問い合わせください。

### にいはる里山交流センター

電話：045-931-4947 FAX：045-937-0898

開園：9時～17時(入園は16時30分まで)

休園日：第4月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日の火曜日)、年末年始

アクセス：JR横浜線十日市場駅南口から徒歩15分 または

東急田園都市線青葉台駅からJR横浜線十日市場駅より

横浜市営バス23系統「三保中央」行

「杉沢」バス停下車徒歩6分(1時間に1本のみ)

※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

ホームページ <http://www.niiharu.jp/>



旧奥津邸

## 第33回 全国都市緑化よこはまフェアのご紹介

平成29年3月25日(土)～6月4日(日)まで、全国都市緑化よこはまフェア(愛称:ガーデンネックレス横浜2017)を開催します。

花や緑にあふれた歴史のある港町の風景を皆さんに体感していただけるよう、「山下公園」や「横浜公園」、「日本大通り」などの港エリアの会場を、季節の花々で彩ります。また、よこはま動物園ズーラシアに隣接する「横浜動物の森公園 植物公園予定地」では、大都市でありながら緑が多く残っている横浜の特徴を生かした、森の様々な楽しみ方を体験できます。

なお、1年前イベントとして、花や緑を使ったワークショップやステージイベントを、平成28年3月27日(日)にクイーンズスクエア横浜クイーンズサークルほかで開催します。

問合せ 環境創造局全国都市緑化フェア推進課

Tel:045-671-3789 Fax:045-663-0027 ホームページ <http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/ryokkafair/>



Garden Necklace  
YOKOHAMA  
2017

▲ロゴマーク



▲シンボルキャラクター  
「ガーデンベア」

### 横浜みどりアップ計画とは?

緑豊かな環境を将来に残すために、市民の皆さんと一緒に緑を守り、つくり、育てていく計画。財源の一部として、「横浜みどり税」を活用しています(個人市民税均等割に年間900円、法人市民税に均等割の9%相当額を上乗せ)。計画書は、環境創造局ホームページ、区役所広報相談係や市庁舎1階市民情報センター、環境創造局政策課で閲覧できます。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/midoriup/>



横浜みどりアップ計画

### 横浜みどりアップ計画 市民推進会議とは?

横浜みどりアップ計画について評価、提案、市民への情報提供をする、市民参加の組織です。

市民推進会議



### みどりアップQとは?

みどりアップQの「Q」は「みどりアップをもっと知る、なぜなに?(クエスチョン)」と、「緑のある暮らしの質(クオリティー)を考える」。市民目線でみどりアップ計画を探っていく市民推進会議のレポートです。

### みどりアップQ 第6号

(市民推進会議広報誌 第26号) 平成28年3月発行  
編集:横浜みどりアップ計画市民推進会議 広報・見える化部会  
発行:横浜みどりアップ計画市民推進会議事務局

### 問合せ

横浜市環境創造局政策課(事務局) 〒231-0017 横浜市中区港町1-1  
Tel: 045-671-4214 Fax: 045-641-3490  
E-mail: [ks-mimiplan@city.yokohama.jp](mailto:ks-mimiplan@city.yokohama.jp)

